

江別市大型カルバート
長寿命化修繕計画
(第2期計画)

[個別施設計画]

令和8年3月

江別市 建設部土木事務所 道路管理課

目 次

1. 大型カルバートの現状と課題

- 1.1 大型カルバートの概要
- 1.2 大型カルバートの現状と課題

2. 大型カルバートの老朽化対策の基本的な考え方

- 2.1 老朽化対策の基本方針
- 2.2 点検方法

3. 計画期間と対策費用

- 3.1 計画期間
- 3.2 対策費用の見通し

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 大型カルバートの状態、対策内容、実施時期

1. 大型カルバートの現状と課題

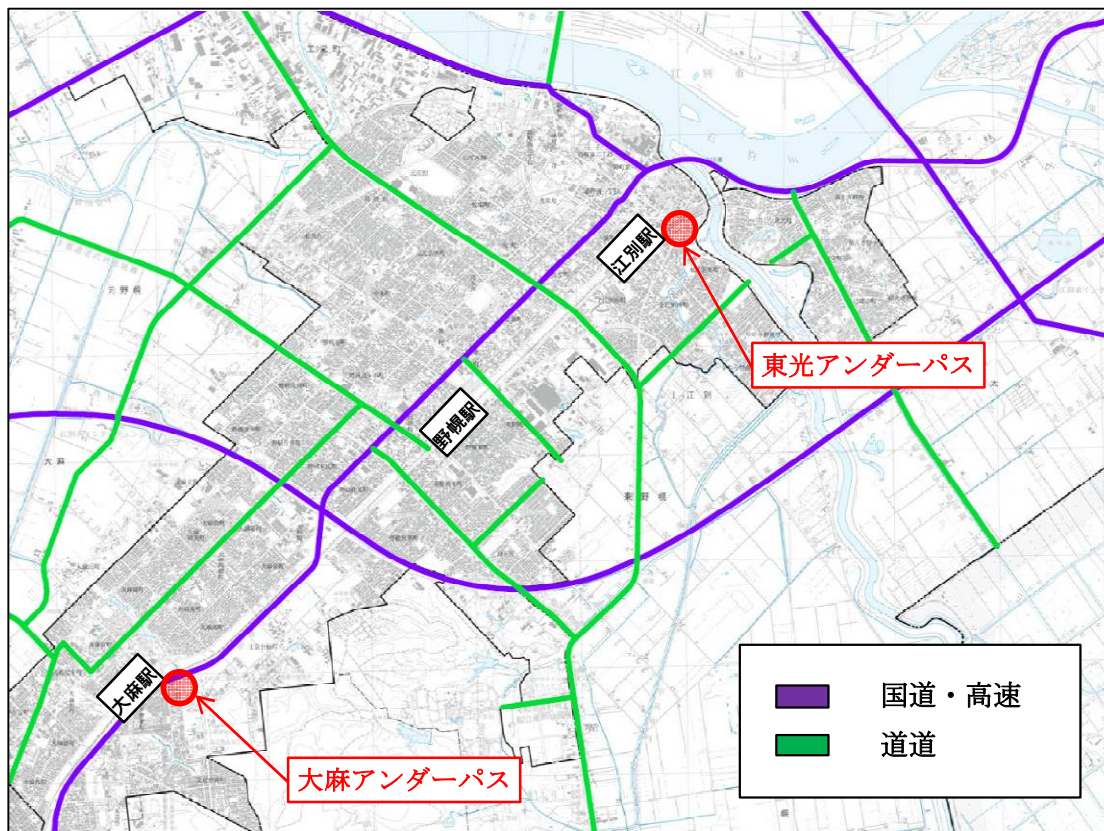
1.1 大型カルバートの概要

大型カルバートとは、土被り 1 m以上の地下に作られた内空断面が 2 車線程度のアンダーパスなどの施設である。

市が管理する大型カルバートは、次の 2 基であり、市道等と交差するものである。

施設名	路線名	建設年度 (西暦)	延長 (m)	幅員 (m)
大麻地下道	大麻大通り	1967	79.2	19.0
東光アンダーパス	上江別 54 号道路	1979	20.9	12.0

令和 3 年 10 月時点



1.2 大型カルバートの現状と課題

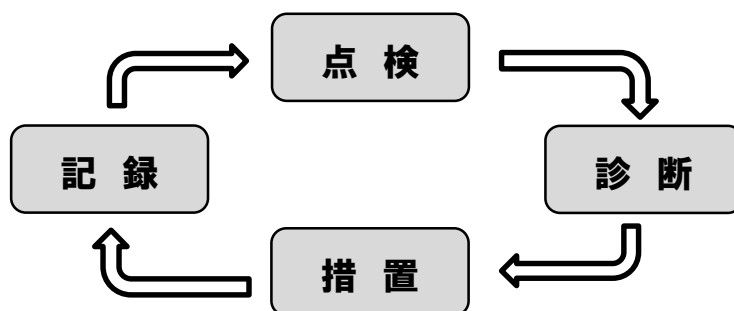
市が管理する大型カルバートについては、昭和後期に建設され、約50年を経過するところである。

今後、施設の高齢化に伴い致命的な変状が発生するリスクが高くなることが想定されるため、計画的に補修をすることで施設の延命化を図り、安全で快適な通行空間を確保する必要がある。

2. 老朽化対策の基本的な考え方

2.1 老朽化対策の基本方針

大型カルバートの維持管理にあたっては、日常の道路パトロールや定期点検により施設の状態を把握し、事後的な対応ではなく、適切な時期に予防保全的な措置を講ずることで、維持管理費用を縮減するとともに快適で安全な通行空間を確保する。



2.2 点検方法

大型カルバートの点検は、5年毎に近接目視による定期点検を実施し、点検結果から施設の健全性を判定します。

【健全度の判定区分】

健全度		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3. 計画期間と対策費用

3.1 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、5年とする。

3.2 対策費用の見通し

今後5年間で修繕等に要する概算費用は、約37百万円と想定。

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

大型カルバートの損傷状況や第三者被害の可能性等を考慮し補修の優先順位を決定する。

5. 大型カルバートの状態、対策内容、実施時期

大型カルバートの状態、対策内容、実施時期等については、下表のとおりとする。

また、下記の取組みにより計画期間の5年間に約10万円のコスト縮減に努める

- ・点検や修繕等の実施において、実施前に「NETIS」や「点検支援技術性能カタログ（案）」などを参考に新技術等の活用を検討する。
- ・集約化・撤去対象の検討を行った結果、当施設はJR函館本線等を横断し、バス路線としても利用している重要な路線であり、近接する迂回路を通行した場合、約5km（所要時間10分）を迂回することとなり社会活動等に影響を与えるため、集約化・撤去を行うことが困難である。

周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて、再度検討を行う。

構造物の諸元					直近における点検結果及び次回点検年度				対策内容	対策の着手完了予定年度		対策に係る全体概算事業費（百万円）	
施設名	路線名	建設年	施設長 (m)	幅員 (m)	所在地 (緯度・経度)		点検結果		次回点検 年度	補修内容 (主な措置内容)	着手年度	完了年度	実施年次
					年度	判定区分							
大麻地地下道	市道大麻大通り	1967	79.2	19.0	43.0424°	141.2957°	R7	II	R12	修繕	R10	R11	37
東光アンダーパス	市道上江別54号道路	1979	20.9	12.0	43.0641°	141.3340°	R7	I	R12	監視	-	-	-

※ 対策費用や対策内容・時期について、今後の損傷状況等により変動する場合は、適宜計画を見直すものとする。